

【議事録資料】

会議名	第 10 回もと西淡路小学校跡地検討会議
日時	令和 6 年 3 月 28 日（木） 午後 7 時から午後 7 時 40 分まで
場所	東淀川区役所出張所
参加者 (順不同)	もと西淡路小学校跡地検討会議委員 前田副区長 地域課 地域担当 (古川課長、富康係長) 安全まちづくり担当 (大橋課長) 企画調整担当 (吉矢課長) 保健福祉課 子育て・教育担当 (大谷課長)
議事要旨 (概要)	<p><b>1 開会</b></p> <p><b>2 副区長あいさつ</b>          本日は、年度末のお忙しい中、ご参加いただきありがとうございます。          先日開催をしました、地元説明会開催のご報告と、マーケット・サウンディングの実施にむけた方向性について、ご確認をいただきたいと思いますと考えております。</p> <p><b>3 地元説明会開催の報告について</b>          資料「もと西淡路小学校跡地活用に関する地元説明会について」          資料「もと西淡路小学校跡地活用に関する地元説明会における主な意見」          参考「地元説明会会議録」          参考「もと西淡路小学校跡地活用に関する地元説明会資料」          に基づき説明。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(委) →もと西淡路小学校跡地検討会議委員              (副) →副区長 (区) →区役所</p> </div> <p>(副) 説明会での主なご意見などを説明させていただいた。この間、様々な協議を重ねてきた結果、売却をせずに活用するという方向になっている。ただし、活用の可能性を探るサウンディングを実施する必要がある。いただいたご意見を踏まえながら進めていきたいと考えている。</p> <p>(委) 関心事項として、避難所の場所を確保できるのかという意見が出ていた。定められている条件などについては、当然区役所は守るところはご説明いただいたので、みなさん理解してくれていると思う。求める条件についても現状で言える範囲は言っていたのかと思っている。</p> <p>(区) 3日間で 80 人弱、色々な立場の方が来られていた。多様なご意見をいただいた。1枚にまとめさせていただいているが、お配りしている議事録から当日の様子についてご理解いただけるのではと思う。元旦の能登半島地震</p>

から、みなさん災害時の避難所確保により関心が高まっている。工事期間中の意見もいただいているところ。我々は区民の安全を守ることが大事なので、必ずどこかで場所は確保していかなければならない。しかし、身近な場所が一時的に使用できないということもありうるという言い方もしながら、全体的な避難想定人数は受け入れるよう確保していくと説明させていただいている。

(委) 引き続き努力をいただくということと、事前にすべての課題を解決することは不可能であり、今後、様々な検討事項が発生すると思うが、それはその時に考えていけばよい。避難人数を削るとかの話が出てきたときについては、地元は徹底的に抵抗すると思うし、区役所も我々と同じ立場で臨んでいただきたい。

(委) 避難所について1,038名の説明を以前受けているが、そのあとにもっと拡大するような施策は考えているのか。マンションとかと契約するとか。水害の場合は大阪市と契約していただいている場所があるのでそこに避難できるが、みな高齢になっているので、避難場所へ行くのも10分15分くらいかかるし、より近くに何か作るとか、それが可能かどうかとか考えてはいるのか。

(区) 学校は水害時の避難ビルにもなっているし、一時避難場所にもなっているし、生活の場所（災害時の避難所）にもなっている。一番確保が難しいのは、生活の場所である。最低でも1週間の期間が必要であるので、そうするとどうしても役所の施設とかになってしまう。民間の施設で災害時避難所の指定を受けているところは市内にはほとんどない。企業の施設を1週間も使うとなると対価を求められる。水害時のビルであれば一時的なものなのでそれは協力いただけるが、生活の場所としてはなかなか難しい。水害時避難ビルについて、西淡路地域においては中央部が少ないので営業を行う課題があると認識している。また、いざ、災害が起きたら家の近くで避難したいという方がおられる可能性はある。ただ、自前で避難されるとなかなか役所が把握しづらくなり物が届かなくなる課題が出てくる。どうしても公的な施設になってしまう。

(副) 水害時の避難ビルについてはまた営業をさせていただく。一方でご自宅が無事であれば自宅で避難するという考え方も最近は取り入れられてきているが、物資とかは学校（避難所？）に登録をいただくことでカバーしていくということなどについても検討させていただいているところ。

(区) 災害時避難所は地域の拠点ではあるが、当該地域の人しか避難できないか

と言えそうではない。

(委) もともと売却になるとみんな思っていた。それがよくここまで来たことに感慨深いものがある。すべての意見は聞けないと思う。どこかで折り合いをつけないといけない。結構満足感のある内容になっているのかと思う。

(委) 大阪市の予算を使って地域が賑わうようなものになればよいと思っていたが、そこは頑なに無理だという判断であるが、ただ、土地だけは保有したまま、条件を付けて取り組んでいくという説明をしっかりといただいたので、この条件にあう企業がきてくれればというところ。

(区) 需要と供給のタイミングも見ながら進めていかなければならない。

#### 4 マーケット・サウンディングの実施にむけた方向性について

資料「これまでの経過と今後の流れについて」に基づき説明。

(副) 表に基づいてスケジュール感を申し上げた。本日の検討会議でマーケット・サウンディングを実施すると報告をさせていただいたところ。大阪市内部の意思確認ということで特別職への説明を踏まえ、再度、検討会議で報告させていただいたのちに実施していきたいと考えている。

(委) マーケット・サウンディングは4月頃か。夏頃か。

(区) 4月5月にかけて内部の調整を行う。検討委員のみなさんにもこの間ご議論いただいているし、地元の意見としても大きく反対であるというご意見はなかったと思っているので、このまま進めていきたいと思っている。大きく引き延ばすこともないと考えているが、サウンディング後の公募との兼ね合いも調整しながら進めていく。夏頃までには実施したい。

(委) 決まっていないということが前提で、雰囲気をお聞かせいただいたという認識でよいか。また情報共有だけお願いします。ここまできたらとりあえず1回聞いてみよう。

(区) 共有できる情報は共有させていただくが、この先、契約とかになってくるとどこまでオープンにできるか不明な部分があるので関係所属にも聞きながら、模索しながらになるが、可能な限り地域に説明していきたいと思う。

(副) 本日は短い時間であったが、マーケット・サウンディングを実施することで確認いただいた。状況については、引き続き共有させていただく。

【議事録資料】

	<b>5 閉会</b>
--	-------------